

社会技術革新学会
研究計画・報告書

研究計画書	
研究会の名称	事故事例研究会（第Ⅲ期）
題目	
参加者（座長◎ 副座長○） 運営幹事	◎横山 哲夫、中田 清、山崎 信幸、加藤 敬 野田 剛、中島 幹
研究開始年月および 研究終了予定月	2013年6月から 2015年5月まで
研究の目的	(1)企業内における安全対策を社会情勢から考察し研究する。 (2)その対策の伝承方法を議論し、次世代へ伝承する方法を研究する。
研究計画の内容	第Ⅰ、Ⅱ期の事故事例研究会では、実際に発生した事故事例をテーマに事故の真の原因を議論し、会員の安全に関する知識向上を図った。 第Ⅲ期では、如何に安全に関する知識を企業活動に反映させて行くかをテーマとして活動する。特に時代を担う若手への安全伝承を目的として進め、原則として2ヶ月に1回の開催を発表者会場利用し、クローズドメンバーの参加により行う。
受理番号	企画運営委員会 受理 年 月 日
報告書	
2013年6月～2015年5月	
<p>第Ⅰ期、第Ⅱ期の研究活動を引継ぎ、第Ⅲ期の運営方法を事故事例研究会の幹事間で話し合い、研究会の目的を再確認した。その結果、安全を効果的に伝承し且つ継続して行く方法を探ることを第Ⅲ期のテーマとして考えていくことで一致した。まず、各社で実施している「安全教育」からヒントを探ることとし研究会を二回開き、社会技術革新学会の第8回学術総会で、その討議内容を「安全対策の伝承」として発表した。</p> <p>高度経済成長期を経て労働人口の低下するなか、安全伝承をどのように行い、且つ人の特性を考えた安全対策の検討を今後の研究テーマと考えた。第Ⅲ期は残すところ三ヶ月となったが、3月には、人のミスからおこるヒューマンエラーについての研究を実施し、第4回目の研究会で第Ⅲ期を総括する。</p>	
企画運営委員会受理	年 月 日
年度	
企画運営委員会受理	年 月 日
年度	
画運営委員会受理	年 月 日

第Ⅲ期 活動内容の詳細

2013年12月27日

第Ⅲ期 事故事例研究会

運営方法についての打ち合わせ 実施 場所：綜研化学株式会社 会議室
幹事 5名

2014年5月13日

第1回 研究会

「各社の安全教育」 発表：綜研化学、大川原化工機

参加者：12名 場所：綜研化学株式会社 会議室

2014年8月18日

第2回 研究会

「社内安全教育について」

発表：日本リファイン、日本化学

参加者：12名 場所：大川原化工機株式会社 会議室

2014年9月26日

事故事例研究会 活動報告

社会技術革新学会 第8回学術総会

題名：「安全対策の伝承」 発表者：大川原化工機株式会社 横山哲夫

参加者：73名 場所：お茶の水女子大学

2015年3月16日

第3回 研究会

「ヒューマンエラーについて」

発表者：産業技術総合研究所 田中 亨 先生

参加者：10名 場所：お茶の水女子大学

2015年5月25日 予定

第4回 研究会 総括と今後について

発表者：大川原化工機株式会社 横山哲夫

場所：お茶の水女子大学